



ゆかりびと

第 27 回

大谷

友絵 月輝 聡宏

さん さん さん



たくさんの笑顔くれた 大好きな矢板市

「小さい頃の夢は宇宙飛行士になることでした」
そう話す聡宏さんは、F1のエンジン開発を手掛けるエンジニアです。幼い頃から宇宙やモノづくりに憧れ、未知の世界に挑戦する気持ちを大切にしてきました。そんな大谷家のモットーは、「後悔のない選択をすること。そして、選んだ道を全力で楽しむこと」。人生の節目や迷いにぶつかった時、家族はいつもこの言葉に立ち返ると言います。

大谷さん一家が移住してきたのは8年前のこと。「矢板市は自然が豊かで人が温かい。本当に住みやすく、大好きなまち」そう話す笑顔には、このまちで過ごした時間への愛着が感じられます。休日には高原山へキャンプに出かけたり、市内のイベントにハンドメイド作家である友絵さんの作品を出展したりと、家族で矢板市での暮らしを満喫してきました。2年前に始まった親子プログラミング教室では、一参加者だった聡宏さん・月輝さんでしたが、講師を務めるほどに成長し、月輝さんは今年、U・16プログラミングコンテスト栃木大会で2連覇を達成。好きなことに夢中になる力を親子で体現する姿が印象的でした。

そしてこの春、聡宏さんはロケット開発の仕事と出合い、転職を決意しました。新たな挑戦の舞台は北海道。家族にとって大きな環境の変化となりますが、「後悔のない選択をする」という家族の想いは変わりません。年齢や立場に関わらず、柔軟な心でたくさんの方に夢中になり、楽しみ、夢を追いつける大谷さん一家の姿に、挑戦することの大切さと、家族で歩む人生の豊かさを教えていただきました。引き続き矢板市も、大谷さん一家のご活躍を応援しています。

Editor's Note 編集後記

▷取材をしていると「あ！カメラの人だ」とか「いつもお疲れ様」と声をかけてもらう機会が増えました。カメラは今でも大の苦手ですが、笑顔に向けてくれる皆さんのために、より一層精進しようと、改めて気を引き締めた担当歴4年目の年始でした（DYC）

▷今年の二十歳のつどいから、市公式 LINE での受付がスタート！LINE を通じて、受付された二十歳の皆さんを対象に、写真組合や広報担当が撮影した写真の共有が可能になりました！紙面に載せきれなかった写真をお届けできてうれしい…！（あ）